

# NPアツヌリ

左官用既調合モルタル【建築用下地調整塗材】**軽量骨材系・#150タイプ**

手摺天端や床面の補修なら、20mmまでの厚付けがOK!  
様々な施工部位で活躍する、現場の要望から生まれた  
多機能型プレミックスモルタルです。

## 特長 1

### 抜群の厚付け性、幅広い塗厚設定 (0.5~20mm)

特に手摺天端や床面の補修において、作業効率向上と  
工期短縮が図れます。

## 特長 2

### 優れた作業性、仕上がり性

手摺天端や床面のみならず、壁面の不陸補修、ジャンカ補修、  
Pコン埋めなど、あらゆる部位で使える多機能型です。

## 特長 3

### 高品質ポリマーセメントモルタル

NPシーラック(JIS A 6203規格適合品)を規定量混入  
することで、すぐれた接着力・耐久性を有する高品質の  
ポリマーセメントモルタルになります。

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	1304018
放散等級区分	F☆☆☆☆
問い合わせ先	<a href="http://www.nsk-web.org/">http://www.nsk-web.org/</a>



JIS A 6916 (CM-2) 規格適合品

## 標準仕様

製品名	適用部位	適用下地	用途	標準塗り厚	塗り面積	荷姿
NPアツヌリ	内・外床 手摺天端 内・外壁	RC躯体/PC板 ALCパネル ブロック/モルタル	床面・天端の補修 RC躯体の補修/下地調整 ジャンカ補修/Pコン埋め	0.5~20mm	4m <sup>2</sup> /袋 (5mm厚)	25kg 防湿紙袋入り

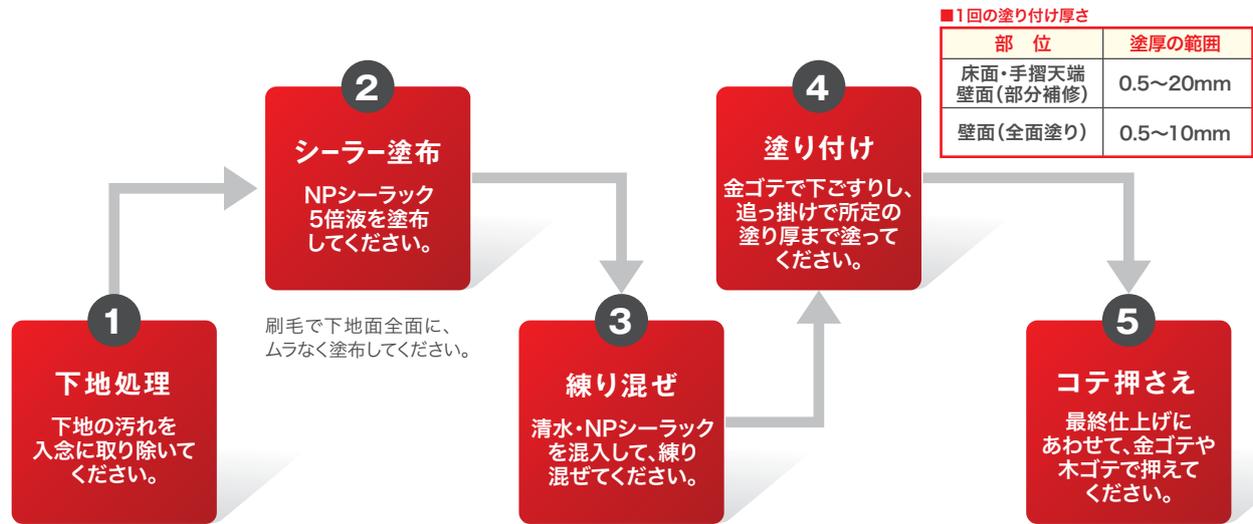
NPアツヌリは、石綿(アスベスト)を一切使用していません。

※露出仕上げでは使用しないで下さい。

Best Walls, Best Life しっくいと共に

日本プラスター株式会社

## NPアツツリの施工方法



高強度コンクリート下地や下地に離型剤・油分がある場合は、サンダー掛けもしくは高圧洗浄をしてください。

標準配合	塗り厚が厚い場合	5~20mm	■ NPアツツリ : 1袋 ■ NPシーラック : 1kg ■ 清 水 : 6~6.5ℓ	塗り厚が薄い場合	0.5~5mm未満 (薄塗り部を生じる時)	■ NPアツツリ : 1袋 ■ NPシーラック : 2kg ■ 清 水 : 5.5~6.0ℓ
------	----------	--------	--	----------	--------------------------	--

- 早期乾燥の恐れのある強い日射や強風の場合は、シート養生や散水養生を実施してください。
- 気温が5℃以下および35℃以上の場合は、施工を見合わせてください。
- 仕上げ材施工までに、通常7日以上、冬期14日以上養生を実施してください。
- 製造日をご確認ください。有効期限は製造日より6ヶ月です。

## NPアツツリの性能

試験項目	試験結果	品質規格
軟度変化(%)	1.2	-20~20
耐ひび割れ性	ひび割れなし	ひび割れないこと
耐衝撃性	ひび割れ及びはがれなし	ひび割れ及びはがれないこと
曲げ強さ(N/mm <sup>2</sup> )	6.0	5.0以上
圧縮強さ(N/mm <sup>2</sup> )	22.8	10.0以上
付着強さ(N/mm <sup>2</sup> )	標準養生	1.8
	低温養生	1.2
吸水量(g)	1.0	2以下
透水量(ml/h)	0.10	0.5以下
長さ変化(%)	0.13	0.15以下
仕上材が複層仕上塗材の場合の耐久性(N/mm <sup>2</sup> )	割れ・膨れ・はがれなし	割れ、膨れ及びはがれがなく、 付着強さが1.0N/mm <sup>2</sup> 以上であること
	1.9	
仕上材が陶磁器質タイルの場合の耐久性(N/mm <sup>2</sup> )	1.1	付着強さが0.6N/mm <sup>2</sup> 以上であること

※記載の数値は自社での測定値であり、保証値ではありません。

JIS A 6916 建築用下地調整塗材 試験方法による

### 注意事項

#### 〈使用上の注意〉

● 取扱いは必ず保護具(保護手袋・保護眼鏡・マスク等)を着用してください。● 取扱いは換気の良い場所にて行ってください。

● 取扱後はうがい及び手洗いを十分に行ってください。● 取扱後の器具類は早めに水洗いしてください。

#### 〈応急処置〉

● 目に入った場合……直ちに多量の水で15分以上洗眼し、医師の診断を受けてください。

● 皮膚に付着した場合……直ちに水で良く洗い流し、必要に応じて医師の診断を受けてください。

● 誤飲した場合……大量の水を飲ませ吐かせた後、直ちに医師の診断を受けてください。

#### 〈運送上の注意〉

● 袋の損傷による内容物の漏れが無い事を確認してください。● 転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行ってください。● 湿気、水濡れに注意してください。

#### 〈廃棄上の注意〉

都道府県条例に基づき処理するか許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。

#### 〈漏出時の注意〉

飛散したものは掃除機で吸い取るか、スコップ、ほうき等で集め、袋などに回収してください。排水は中和、希釈処理などにより、河川等に直接流出しないように対策をとってください。